

特集「コミュニティNETひたち設立20周年に寄せて」

理事・監事

「元気なシニア」が活躍する場所 星川 雄

100歳時代、「元気なシニア」が増えてきました。Cnet会員の平均年齢も上がっていくでしょうが、「元気なシニア」が増えた証拠ですから、必ずしも心配する事は有りません。書店では、“80歳の超え方”といった類の本が並んでいます。私も、80歳になりましたが、出来るだけ永く人様のお役に立てることを続けたいと思っています。自分も年を取り「年寄り」が増えていくのに、「若返り」などと無理なことを言うより、Cnetを「元気なシニア」が活躍しやすい場所にした方が良く、と思って頑張っています。Cnetの中では、スマホ教室の指導、外では市内交流センターで開催のシニアのための初心者タブレット講座の指導等をやっています。どちらも、教える為には相応の準備も必要で、“教えることは、学ぶこと”を実感しながら続けております。

設立20周年に思う 宮垣 久典

Cnetに入会して、いつの間にか20年。会社と退職後の合計60年の3分の1、Cnetに在籍したことになる。設立当初から、事務所パソコン教室のほか、日立市や近隣の市町村や県北生涯学習センターなどの講座の講師を務めながらパソコン講座事業全体の取り纏めとパソコン講師のスキルアップに務め今日に至った。NPO設立当初の財政難、東関東大震災、コロナ禍によるパソコン講座の休講など幾多の苦難を乗り越え、この事業が継続できたのは、この事業がパソコン学習の場に留まらず、講師、受講生、会員と地域交流の場、講師スキルアップの場としてうまく機能してきたためであり、今後もこのような生涯学習の場を提供することが当会の使命である。

Cnetひたちに生かされて 佐藤 紀子

あれから18年。歳月人を待たずといいます。今ではマスクの外せないお年頃になってしまいましたが、Cnetでの豊かな経験は私の人生に彩りを添えてくれました。一介の主婦がそれまでとは違う世界の中で、苦手な事にも挑戦し、自分の中で選択肢を増やすことができました。学ぶことの楽しさも知りました。Cnetには様々な講座と同好会がありますが、皆さんいきいきと実に楽しそうです。幾つになっても何かに興味を持ち、学び、知ることは日々の生活を豊かにしてくれます。私も、経験豊かな先輩方のご指導をいただきながら、そして掛け替えない仲間たちと共にこの先、あれから30年！と言えす日を目指します。

ホームページ作成方法について 宮原 養治侶

最近、無料で画像、写真集、動画（YouTube）などを容易にホームページサイトに作成、閲覧、更新できる方法がわかり、デジタル写真同好会で作成した記念誌、撮影会写真集、撮影会ムービー（スライドショー）、ブログ投稿記事（撮影会、オンライン例会、講習会）などをまとめて閲覧出来る「Cnet デジタル写真同好会」サイトを作成した。トップページ上部のページタブから各ページを閲覧でき、ページの追加、修正が容易なのは有難い。また最新の技術が採用されておりスマホ、タブレットでも閲覧できるのも良い。まだ使い方がわからず、いろいろと試行中であるが以前のホームページビルダーでの作成、更新方法より格段に容易なところが良い。

パソコンの未来 小澤 正明

パソコン教室で初心者を対象にした講座では、初心者にとってキーボードからの入力操作は難しいようで、そこで思うのは最近のホームページ検索などでは音声でキーワードを入力すると検索できる機能があります。さらに手や指が不自由な方のために目で追って入力できる機能を備えたパソコンもあります。パソコン技術は日進月歩です。人工知能を搭載したパソコンで、音声でしかもその地方の言葉で話しても標準語に変換をして文書ができるようになり、文字入力の苦手な人をはじめ、あらゆる障害者にも対応できるパソコンができれば難しさのハードルは下がりもっと利用が増えるのではないか思っているところです。そのようなパソコンができればいいなあ～。

デジタル化に感謝 大内 猛

昔アナログ今デジタル。これは私の身边を急速に変化させた。写真の保存もその一つである。押入れを開けると今でも昔のアルバムがぎっしり。これがパソコンを始めてからアルバム保存からデジタル保存に変わり、アルバム増加ピットリ止まった。処分しようと思始まるが思い出の廃棄となりそうでまた押し込んでしまう。二つ目はデジタルで文字も画像も表示でき、加工も出来ることである。友人にパソコンの超得意な者がいて、彼を含めたグループで里山へ出かけると翌日には素晴らしいレポートが届く。その素晴らしい出来栄えにいつも感動していた。自分もそんな事ができたらいいなと思っていたが、いつの間にかそれが私の仕事になっていた。

時代を先取りした活動を一緒に 山崎 勝敬

2000年代初頭、インターネットの急激な普及が進み、Google検索やWikipediaなどのサービスも一般化され、更に常時接続で低コストのISDNやADSLサービス開始等、パソコンを情報端末として利用できる環境が整備されてきたが、現実には一般の人達が自由自在に使いこなすのは難しい時代でもあった。

そんな中で「ICTのスキルで地域に貢献」を掲げNPO法人コミュニティNETひたちが設立されたのは、今から丁度20年前の2002年4月のことであり、その趣旨の先進性には目を見張るものがある。

この後の20年後にも「時代を先取りしているね」と言われるような活動が継続されるよう、会員の皆さんと共に、一緒に頑張っていきたいと思います。

目指せデジタルシニア 大和田 かおる

日常生活ではスマホやPCなどのインターネットを使い利便性が高まる中で、シニア層が取り残される懸念が指摘されている昨今。日立市では高齢福祉課主催の「高齢者はじめてICT（初心者タブレット）教室」を各交流センターで開催しています。Cnetがその講座の講師を担当することになり、私も講師に。ほとんどの方がタブレットに初めて触れる方なので最初は戸惑っていましたが、操作にも慣れてくるとタブレットの楽しさ便利さに感心していました。何回でも参加OKですので、この機会に基本操作を通して、楽しさ便利さを実感してもらい、シニアがデジタルの壁を乗り越える第一歩となればと思っています。

モノづくりに活用したい 石井 孝司

今まで、パソコンのプログラミングが趣味だったので、それらのスキルを何かに活用したいと思っていました。縁があってコミュニティNETひたちというNPO法人に参加することになり、自分にぴったりだと思いました。

さて、自分のスキルを何に活用したのかと自問したら、モノづくりに活用したいと思っていることに気が付きました。これから世界は食糧危機に突入していくことになるので、長期保存が出来て、安価な食料が必要になってくると思っているので、そういったモノづくりに参画してみたいと考えています。

何が出来るか、どこまで出来るか分からないが前向きにチャレンジしたいと考えています。

デジタル化とDXの違い 太田 秀夫

一言で説明すれば、手段と目的の違いだと思います。コロナ禍を受けて役員会をZoomで開催してから2年半が経過しましたが、これはデジタル化という手段です。その結果、毎月役員会出席のために移動する必要がなくなり空き時間が増えました。人的・時間的効率が上がり交通費が減るなど経費節減効果もあります。営利を「目的」とする企業ならば、デジタル化で生み出した人、時間、資金を活用して新しい事業を立ち上げ、ビジネスモデルを変革して売上・利益を伸ばす、それがDXだと思います。では、年金生活者にとつてのDXとは何か？PC、スマホ、デジカメなどを積極的に活用して仲間を増やし、人生を更に「楽しむ」ことかも知れません。

(DX：デジタルトランスフォーメーション)


 会員の便り
 

第二の20年を目指して 井手 よしひろ

ご縁あってCnetひたちの設立以前から、会の活動に携わらせていただきました。草創期の厳しい状況乗り越えた皆さまの姿も拝見してきました。NPO認証を、三カ月で受けられるよう奔走したのも思い出です。それから20星霜、Cnetひたちは、着実にその理想像に向けて前進されています。この間、私は県議会議員を引退し、SDGsや防災減災の推進を目的とする社団法人を立ち上げました。これからは、動画制作やドローン、DTPなどの分野で活動に参加させていただきたいと思っています。

当会の継続に貢献された方への感謝 大島 興洋

NPOには公からの仕事があり十分成り立つと考え設立に参画された方も多かったようである。1年経過し事業は少なく大赤字であり13人の理事は1名を除き退会され解散の危機を迎えた。残った理事が仲間と再建を行った。小学校にボランティアでパソコンの指導を行いそれが認められ市内の全校に有償で派遣となりPC教室と共に事業の柱となった。その他各種事業を開拓した。この方は前代表の内田さんです。20周年に当たり前代表に感謝するとともに当会が今後も継続発展することを祈願しています。

創立20周年を祝す 白石 陽一

Cnetひたち創立20周年おめでとうございます。当時私達はパソコンを市民生活の中に普及する活動が目的でNPO法人を立ち上げました。それは自分自身の啓発に思いも掛けない効果をもたらしました。多彩なパソコン、スマホに加えて多様なアプリを学びました。そして、発生したのが新型コロナウイルスのパンデミックです。世の中はテレワーク時代に突入してIT技術が力を発揮しました。私は能楽をリモート稽古で楽しんでいます。NPOの運営を継続して来られた諸氏のご労苦に感謝申し上げます。

Cnetに参加して 新井 康彦

- NPO法人の運営
NPOとして会員会費ほかの固定収入のみで運営では活動は難しい。収入が期待される活動を探すのは役員の大きな役割でこれは企業経営にも通ずる。
- 活動の目的
活動は会員の楽しみだけでなく社会への奉仕が目的であり会員外の人がIT文化に馴染んでもらう機会を提供している。
- PC環境への技術サポート（トラブル対応）
量販店に比べ 良・安・速で対応していることに感謝。

十年前に

千石 久子

十年前に短歌の先輩と、パソコン教室のドア開けた。未知の世界への挑戦には、一人よりは二人でと。何よりもCnetに短歌仲間の軍司さんが所属していることが二人の拠り所。パソコン購入には高橋さんのアドバイスを参考に。軍司さんに手ほどきを受け教則本を開き学び始めたあの日の私達は少女のように？！素直で真剣。二人で学ぶから緊張も羞恥心も半分こ。Wordをどうにか習得できた日のあの感激は忘れられない。自分の時間をフルに使えた日々にパソコンを覚えておいて本当によかった。

Cnetカフェ

鈴木 ちよ子

パソコン教室の時、コーヒーを飲みながら談話するのは私の楽しみの一つです。パソコン教室はパソコンの勉強だけと思っていた入会当初はこのお茶の時間はちょっと意外でした。3年ほど前に前任者から飲み物、お菓子などの購入係を引継ぎました。

今は新型コロナの為に集まって飲食することは控えていますが、早く以前のようにカフェコーナーのテーブルなどに集まってコーヒーなどを飲みながら談笑できるようになりCnetカフェが皆さんの交流の場になって欲しいと思うこの頃です。

シニアライフ奮闘中

井上 恵子

仕事、子育て、親の介護と、様々な事に追われる日々を卒業しiPad教室受講をはじめて3年の月日がたちました。今年からは事務所の当番と市のタブレット講座のサポートを始めました。年々、身にしみて感じることは、これからのシニアの生活にはデジタルの利用は不可欠と感じています。私もまだまだですが、皆さんと一緒に学びながらお役に立てればと奮闘中です。様々な出会いの中で、Cnetには本当に元気な方が多いと感じています。そんな皆様と楽しいシニアライフを楽しんでいけたらと思っています。



「グミ島の目覚め」小林明光さん撮影

🌿🌿🌿🌿🌿 ワーキング・グループ&趣味の会からの便り 🌿🌿🌿🌿🌿

新しい時代の作品作りを楽しもう 小林 明光

デジタル写真同好会が活動を始めて、今年は16年目の活動です。スタート当初のデジタル写真の環境に比べ、今の進歩ぶりは夢のようです。カメラの画素数、連射速度、被写体追従AF、顔や目の認識AF、ノイズレス感度の向上、色のきれいさ、撮影後のレタッチソフトの飛躍的能力向上、等それら全部を、手に入れることは難しいですが、当会のメンバーは、それらを容易に取り入れられるパソコン得意集団です。予算と相談しつつ、新しい技術を取り入れて、より刺激的な作品作りを目指そうではありませんか。

「俳句会」について

村山 典男

俳句の会はCnet創立後まもなく、桜井キミ子リーダー他9名が参加してスタートしました。今年10月で210回になります。メンバーの入れ替わりや東日本大震災、小野訓先生や後任の鈴木信行先生のご逝去を乗り越え、高齢のメンバーがパソコンを使いこなして、月1句会を1度も欠かさず継続してきたのが自慢です。コロナ環境下の現在は、俳句アプリ「夏雲システム」で投句、選句を行ない、「Zoom」で在宅のままリモート句会を実施しています。新技法についてはCnetや内田現リーダーの強力なサポートに感謝です。

IT脳の活性化と認知症予防 衣嶋 新一

ITという言葉がない単なる電子技術に携わってから半世紀が経過しました。最近、情報や技術に解らないことがあると何とか解決しようとする気力が落ちてきたことを痛感します。今、日々認知能力が落ちていく母を見守っていると、明日は我が身の恐怖を感じます。コロナ禍や円安によって異文化に触れる機会も当面は期待できません。ワクワクするような自己を奮起させるITテーマを課して脳を活性化させることによって認知症を少しでも遅らせる事は出来ないか、結構真面目に考えている昨今です。

Cnetの講師を増やそう

菊池 誠

Cnetの会員になって以来、少年団、Cnet、県北生涯学習センターでプログラミング講座を担当でき、現在は、高校の情報の講師など、やりたかったことが次々実現できました。チャンスを下さった内田さん、星川さん、久保さんには、本当に感謝しております。やりたいことは、まだまだありますが、最近考えるのは、Cnetの講師がもっと増えて欲しいということです。多くのCnet会員が、学びの目標をレベルアップさせ、ボランティア講師から始めて、サブ講師、メイン講師を目指すことを望んでいます。



入会当時の事とこれから 小川 正信

20周年おめでとうございます。理事をはじめ運営等に関わられて来られた沢山の方々に謝意を申し上げたく思っています。

わたしの入会のきっかけは「カメラの同好会」があった事とHPを立ち上げてみたかったと言う単純な思いでの入会でした。デジカメ技術は皆無であったが講師や同好会の皆さんから色々なご指導を頂きながら今日に至っている。未知の知識を吸収したいという気持ちがここまで続けられたのかと、今後も体の動く限り当会に在籍したいと思っています。

PC入門&基礎講座で新たな発見を 作山 剛

Cnet20周年おめでとうございます！2021年度から講師を担当しております新参講師の作山です。

何十年も仕事でPCを使ってきた身にとっては当たり前と感じてしまっているちょっとした操作も、未経験の方々には日々新しい発見があると思います。

私がPCを使い始めた頃の発見と感動をお伝えすべく、一つひとつの操作とその結果を、わかりやすく、楽しくお伝えしていこうと心掛けております。

そして受講生の方々が、PCを道具にして自分のやりたいことを実現できるようになれば幸いです。

Mさんとの出会い 長谷川 孝

現在は金曜日の午後に少人数クラスでWordの個別指導を担当し、これまで多くの会員と学んできた。この教室の最初からの受講生であるMさんは(県北)のパソコン入門講座で出会い、その後本教室に入会し10年近く、80代後半の今年春まで受講されてきた。町内会・同期会の資料作成や年賀状の印刷等、自分なりのニーズにパソコンを活用し、そのチャレンジ精神には大いに啓発されてきた。また、講座の休憩タイムの際は、造詣の深い「歴史・地理」の話題等での博識ぶりに、つい時間を忘れて楽しいひとときを過ごしたことを思い出す。

学びは続くどこまでも 根元 直子

私がWeb作成に興味を抱いたのはWindows98機を手にした頃。文章や画像を組合せ、本を編むような楽しさがあり、容易な情報発信が魅力的でした。

Cnetの創設当初からWeb作成に関わり20周年を迎える間、インターネットは様変わりし、PCだけでなくタブレット、スマホにも対応するレスポンスデザインが求められ、作成方法の学び直し。

テキストエディタでの作業は、知識不足やタイプミスでページが表示されず悩むこと多々ありますが、うまくできたときは快感。もっと学びをと感じます。

パソコンライフはCnetと共に 広田 和子

Cnet入会后、2004年に小学校支援サポートに関わる事に、当時1~2年生はマウスを持つのもやっとの、もみじの様な手で、ホントに愛しかった事を思い出します。支援が終了し、生涯学習センター(太田・県北)のパソコン講座へと代わり、今度は中高年へのサポートになりました。事務所では女性講師による「パソコンを楽しむ会」で多くの会員さんに喜んで頂きました。「同じことを何度聞かれても笑顔で」をモットーに、昨今はどうしたら解りやすいのかと、考える事も楽しみの一つになりました。

教えることは学ぶこと 村山 尚子

パソコン講師を始めて10年以上ですが今まで生徒さんには様々な操作を沢山知って頂こうという欲張りな気持ちが強く本当に寄り添うことが出来たか疑問でした。でもここに来てWord初級講座を一から一緒に学ぶことで今まで気付かなかった些細な操作を改めて知る喜びが共に学ぶ楽しさに変えてくれています。アプリのチェンジアップに振り回されていますが、生徒さんの要望に応えられる様可能な限り少し古いバージョンでも工夫すれば出来る、そんな楽しみ方も味わいながら続けていきたいと思っています。

日常生活に欠かせないパソコン 五島 美由子

Cnet会員になり、約10年になります。各種講座で沢山の知識を得ることが出来ました。最近、県北生涯学習センターで宮原先生のご指導の下、Word&Excel講座のお手伝いをして中高年層の方と、又、日立パソコン探検少年団では、菊地先生の下、小中学生の方々と幅広い年齢層とのかかわりが出来きて嬉しく思っています。最近、マイクラフト同好会で楽しく活動しています。趣味でもパソコンは、必要な物になり、パソコンは日常生活に欠かせないものとなりました。

スマホ入門&活用講座 小又 稔子

毎日の生活に欠かせないスマホの機能がどんどん進化しているなか、私たちの講座も講師の丁寧なご指導で、Facebook、Instagram、Twitter、写真編集、音楽ダウンロード、脳トレゲーム等、様々なアプリを安全に入手し、仲間とLineで共有し楽しんでいる。

また、防災情報、気象予報、日立市HP、実用的に活用し、役立てている。シニア世代にはますます頼りになる必須アイテムです。

驚くほどの便利機能があるが情報に惑わされることなく確実に深く学習に臨みたい。